

モンテッソーリ Luce だより

2022年12月

モンテッソーリ Luce タイム担当：宮本 正江



モンテッソーリ Luce タイムも後期になり、最初は緊張気味にお仕事を選んでいた子供達も、段々とお仕事の手順や道具を覚えてきました。今はより正確に、より秩序立て、自信をもってお仕事に取り組む姿が見られます。子供達のこの様な成長は、Luce での過ごし方を理解し、そっと見守って下さるお母様方があってこそかなうものです。日頃よりご協力下さり、心より感謝申し上げます。11月時のクリスマスオーナメント作りではいつものスパンコール付けで培った針使いでとても素敵なオーナメントができましたね！

一月より言語教育の教具を取り入れます。胎児期から始まる言語の吸収は、二歳を過ぎる頃から言語の敏感期（自然の発達に導かれ、ある機能や能力を獲得する為に子供達が敏感に反応し、何度も繰り返し行う時期）として顕著に現れます。Luce タイムにおいても、子供達が様々な道具を扱う際、正しい言葉に触れられる様意識して活動しています。

モンテッソーリの言語活動は今まで行ってきた日常生活の練習や感覚のお仕事の土台があってこそできるものです。モンテッソーリが言語のお仕事を考案した当時、一般的に言語教育は難しいものと考えられ学齢児になってから教えるというのが通例でした。もちろんモンテッソーリ自身もその様に考えていたそうです。しかし、モンテッソーリは物の名前や使い方をどんどん吸収していく子供達の姿から、子供の受容力を感じ、言語教育を行うことを決意しました。また、モンテッソーリが当時教えていた子供達は読み書きのできない親の子供が多かったそうです。読み書きができず苦労した親からの要求もモンテッソーリを突き動かし、従来考えられていた時期よりも早い時期の子供達に言語教育を行う事にしたそうです。

Luce では、物の名称の整理と記憶の為に絵合わせカード、鉄製はめ込みでは三本指で筆記用具を持ち、なぞる事で柔らかい手首の動きなど、書く為の直接的な準備を行います。

モンテッソーリは経験を通して学ぶという方法が子供にとって有効であると感じていた為、言語教育においても身体を使う事を大切にされた方法、教具を考えました。難しいと思われていた言語教育も感覚経験に訴えた教具を使い、準備をしていく事で、無理なく学ぶ事ができるのです。

今年度はあと三回となりましたが、残りの時間も子供達にとって実りのあるひと時となる様準備してまいります。二月までお元気で通えますよう、お待ちしております。

今月のお仕事紹介

☆鉄製はめ込み

対象年齢：4歳～

鉄製はめ込みは10組のはめ込み鉄製幾何図形を使うお仕事です。このお仕事は鉛筆を持って書く練習の為のお仕事です。幾何図形を書くので、一見すると言語教育の教具に見えないかもしれませんが。文字を書く事を学ぶ時、鉛筆を持って文字を何度も繰り返し書かせるというやり方が一般的ですが、モンテッソーリの言語教育では、書くという行為を細かくわけて練習する点が特徴といえます。書くという行為を、①書く道具(鉛筆・ペン)の操作、②文字の形を覚える事、③文字を組み合わせて言葉が出来る事を知る。この3つにわけて練習をします。鉄製はめ込みは①書く道具の操作の為のお仕事なのです。また、幾何図形を組み合わせて書いたり、好きな色でぬったりする事によって、間接的に芸術的感覚を洗練する事にもつながっていきます。

興味点：正しい姿勢で書く。書く物の持ち方。手首や腕の動かし方。

直接目的：書く物を持って、書く事を覚える。

間接目的：意志と運動の調整。(紙への軽い接触と輪郭線から出ない事に要する注意力) 芸術的感覚の洗練。

【活動の様子】



ハサミが上手に使えましたね



パズルが得意な〇君です



縫い刺しのお仕事大好きです



クリスマスオーナメント製作(スパンコール付け)



クリスマスオーナメント(素敵な作品が出来ましたね)